

(様式 2-1, 2-2 はそのまま PDF 化し, 学内限定で公開します)

令和 4 年度三重大学国際交流事業実施報告書 (学内版)

1. 申請部局

学部・研究科名等： 国際交流センター

事業担当者の職・氏名： 助教・正路真一

内線電話番号： 9203

電子メール： shoji.shinichi@dhier.mie-u.ac.jp

2. 事業の名称 (20 字以内, 別に副題を付けても良い)

ニュージーランド・ワイカト大学語学・異文化理解研修

3. 事業内容の別 (該当するところにチェックを入れてください。)

教職員, 学生の海外派遣 (学会やシンポジウム等の出席は除く)

海外交流機関等からの教職員, 学生の受け入れ

国際教育プログラムの開発や推進

その他

#### 4. 事業の取組結果

##### (1) 事業概要（簡潔に事業全体の概要がわかるように記述してください）

本事業は、本学の派遣学生の①英語能力の向上と、②異文化体験を通じた考えや感性の深まりの二つを目的として実施するものである。プログラム期間中、派遣学生は週に5日、計23時間の集中英語講座を、3週間受講した。帰国後には事後研修として報告会に参加し、また報告レポートを提出した。

##### (2) 事業の背景・これまでの実績

本事業は、2018年度まで皇学館大学が行っていた研修に三重大学生が参加させていただいていたものを、2022年度から三重大学が初めて単独で行ったものである。また、三重大学主催の海外研修としては、コロナ禍以降初めて行ったものである。

##### (3) 事業実施結果

本研修は9月3日から24日までの3週間にわたり、その間参加学生は、月曜日から金曜日までワイカト大学で英語の語学クラスを受講した（月曜日から木曜日までは午前・午後のクラス、金曜日は午前のみ）。午前のクラスでは主に文法等を学び、午後はアクティビティや教室外でのインタビュー活動など学生参加型の授業が主であった。また、毎週木曜日の午後は、English Clubという名の現地学生と交流する機会が設けられ、これへの参加は自由であったが、ほとんど全員の学生が毎週出席した。キャンパス外での活動としては、文化体験アクティビティとしてニュージーランドの観光地「ホビット村」を全員で訪問した。滞在中は全ての学生が現地市民の家庭にホームステイをした。



(研修最終日の授業の様子)

##### (4) 事業の意義

参加学生がニュージーランドで生活し、授業での学習やホストファミリーとの交流から、言語能力を向上させることはもちろん、異文化での生活を体験することで、これに対する理解や許容力が高まると考えられる。

(5) 事業の発展性

本研修への参加学生数が予想を大きく上回る 21 人であったこと、また参加した学生から好評であったことから、コロナ禍で長く実現できなかった海外留学を希望している学生が多かったことがうかがえる。今後は、夏期に加え春期にも本研修を実施することとし、海外留学を希望するより多くの学生たちの受け入れ体制を整える。

(6) 中期目標・中期計画における位置づけ

本研修は、次の中期目標に関連するものである。

(8) 学生の海外派遣の拡大や、優秀な留学生の獲得と卒業・修了後のネットワーク化、海外の大学と連携した国際的な教育プログラムの提供等により、異なる価値観に触れ、国際感覚を持った人材を養成する。

(7) その他

特になし。

## 5. 事業に係る経費執行結果

事業費		事業費の内訳	
		助成金額	自己負担額
① + ② 120 (千円)		① 119.994 (千円)	② 0 (千円)
経費区分	金額 (千円)	積算内訳	
1) 旅費	助成分 119.994 千円	助成分 航空券 (一部補助) 5714 円 X 21 名 = 119,994 円	
2) 消耗品			
3) 役務			
4) 謝金			
合計	助成分 119.994 千円		

## 令和4年度三重大学国際交流事業実施報告書（一般公開：日本語版）

2022年度夏期のニュージーランド・ワイカト大学への短期英語研修は、三重大学国際交流センターが実施するものとしては、コロナ以降初めて行われたものです。本研修への参加応募人数数は21人と予想を大きく上回り、コロナ禍で留学をしたくてもできない学生が多くいたことを窺わせるものでした。

9月5日から23日までの三週間、参加学生はワイカト大学で英語の集中講座を受講し、また滞在中は現地市民のご家庭にホームステイさせていただきました。また、毎週木曜日の放課後には現地の大学生と交流するEnglish Clubという時間が設けられ、多くの本学学生がこれを楽しんだようです。さらに、研修期間中、学生たちは積極的に自分たちで活動する機会を探しました。例えば周辺の観光地への旅行、ラグビー観戦、大学内ジムの無料活用などですが、これらは学生たちが現地に行ってから自分たちで見つけた機会や施設であり、本学教職員が紹介したものではありません。

本研修は主に英語能力の向上を目的としていますが、異文化での生活を体験することによってこれを理解し、これを許容する力を向上させることも目的の一つです。研修後の報告レポートによると、英語力の向上については、「自分の英語が伝わるのが嬉しかった」、「英語を話すことへの抵抗がなくなった」、「英語の学習意欲が増した」などといった感想が挙げられました。また異文化体験・理解についても、「海外文化体験のいい機会となった」、「ホストファミリーとの交流が楽しかった」、「日常生活が楽しかった（スーパーで買い物をするなど）」といった肯定的な意見が多く寄せられました。



(研修最終日の授業の様子)

## 令和4年度三重大学国際交流事業実施報告書（一般公開：英語版）

The English-study program at the University of Waikato, New Zealand, was the first short-term overseas program offered by Mie University after the spread of Covid-19. The number of participating students was 21, which was more than our expectation and may indicate that many students wanted to (but were unable to) go studying abroad under the Covid-19 environment.

For three weeks from September 5<sup>th</sup> to 23<sup>rd</sup>, at the University of Waikato, participating students took intensive English classes and stayed at the regional residents' homes. Also, every Thursday, our students enjoyed attending “English Club”, in which international students and the students from the University of Waikato talked and chatted. In addition, during their stay in New Zealand, our students actively kept finding opportunities of different kinds of experiences. For example, they went sightseeing in surrounding cities, watching a rugby game at a stadium, and getting a free pass for using a gym of the University. These were the opportunities that they found by their own, not by being informed by teachers and administrative staff.

The main objective of this program was to improve the English proficiency of the participating students, but another objective was to experience, understand, and accept different cultures. The post-program reports find our students' positive comments such as, “I was happy that people understood my English”, “I became not reluctant to communicate in English”, and “I am more motivated to study English”. Regarding different-culture experiences, the student's comments were also positive: “It was a good opportunity to experience foreign culture”, “I enjoyed living with my host family”, and “Normal daily life was fun (including going shopping at a supermarket)”.



(A class of the last day of the program)